

2021年4月26日

日本チタン協会

チタン需要開拓助成制度の2021年度採択案件を決定しました

当協会では軽く強く錆びにくく生体適合性に優れるチタンの特性を活かし、環境対応、福祉など社会に貢献し、チタンを世の中にPRするための製品開発・需要開拓・販売活動などを支援する目的で、2009年に同制度を設けて助成を続けていますが、今般、厳正な審査を経て、2021年度の採択案件を決定しました。

2021年度助成案件

1. 奈良精工株式会社（中川博央社長、奈良県桜井市）
2. 有限会社小林製作所（小林直樹社長、新潟市西蒲区）

（追記）

- ・ 助成金額は各50万円
- ・ 本助成の対象者は日本国内に拠点を有する日本チタン協会賛助会員に限ります（個別企業もしくは個別企業からなるグループ）
- ・ 本助成を使って得られた成果、財産については、全て個別企業またはそのグループに帰属するものとします
- ・ 各案件のテーマは、新規性の高いため報告完了までは開示しません

（参考）2020年度助成実績

1. 株式会社オーファ（細川寿二社長、千葉県浦安市）
テーマ：チタン製打ち込み式アンカーボルトの開発
2. 東京チタニウム株式会社（小澤良太社長、埼玉県さいたま市）
テーマ：アコースティックギター用Ti6Al-4Vブリッジピンの開発

*2社様には2021年2月末に成果報告書を提出戴きました

なお、2022年度の募集は、2021年10月～2022年1月の予定です。

以上